

# ◆ 「地域をつむぐ医療文化」を語る会 開催のお知らせ

生活機能向上研修・人生の最終段階におけるケア

国立長寿医療研究センター・京都府医師会共催企画

テーマ「英国式 人生最終段階のケア」

～Gold Standards Framework 戦略～

超高齢社会のわが国で地域包括ケアシステムの構築には、人生の最終段階のケア(EOLC)の拡充が、喫緊の課題です。

英国 GSF 戦略は、1. 患者視点での EOL 患者の早期同定、2. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)取得、3. 質の高い EOLC 提供の三段階からなります。

「驚きの質問」で患者さんの視点に立脚した EOLC が始まります。

GSF 戦略は多職種協働を促進し、多職種の賛同者を増やし、避け得る緊急入院を減らし、QOL を向上し、医療費は削減しました。 GSF 代表の Thomas 教授から GSF 戦略の本質を伺います。

と き：平成 27 年 6 月 18 日 (木) 午後 6 時～7 時 30 分

と ころ：京都府医師会館 3 階 310 会議室 (大ホール)

象 者：医師、医療や介護にかかわる多職種

講 師：英国 Gold Standards Framework(G S F 代表) Keri Thomas 教授

※日本語通訳あります

参 加 料：無料

申し込み：不要

## プログラム

18:00～18:15	開会挨拶 森 洋一 京都府医師会長 Thomas 教授とわが国における GSF の意義の紹介 千田 一嘉医師 (国立長寿医療研究センター在宅連携医療部) 「地域包括ケアシステム構築の要、高齢者、家族の安心安全のためのプラチナな人生最終段階のケア」
18:20～19:10	Thomas 教授講演
19:10～19:30	質疑応答

## 講師紹介

### 【略歴】

The Royal London Hospital Medical School 卒業

総合診療専門医 (GP)として地域医療を支え、ホスピス・ケアにも従事

University of Birmingham 名誉教授 (EOL ケア)

2001 年 Gold Standards Framework 設立

Train-the-trainer (指導者を育てる) 戦略で、全英で人生最終段階に近づく人々に黄金の (GOLD) ケア方法を総合診療専門医に広める草の根運動を展開

2008 年 英国保健省の公式プログラムに採用

2010 年 英国保健省から独立した人生最終段階のケアの研修・認定機関となる

2010 年 International Society for Advance Care Planning and End of Life Care (ACPEL) を設立



### 【著書】

“Caring for the Dying at Home” (2004)

(死にゆく方々の在宅ケア)

“Advance Care Planning in End of Life Care”

(人生最終段階でのアドバンス・ケア・プランニング)

(2010) など多数。